

1. 一般規則、機体

日本RC模型グライダー協会のHPにある

「F3L-FAI暫定規則2022」(和訳)における規則に従う

大会に使用する機体数は3機以内とする。

2. 競技全般

a) 「F3L-FAI暫定規則2022」に定められた15mゴム製チューブと40mのナイロンラインで構成する。

b) ゴム製チューブとナイロンラインは主催者が用意するものとし、ナイロンラインの直径は主催者が指定する。

c) 杭から85m離れた地点にスタートラインを配置する。競技者は、スタートラインを超えた位置から発航してはならない。

※必ずしもスタートラインまで伸ばす必要は無く、スタートラインの少し手前から発航してもかまわない。

d) スタートラインから10メートル風上に着陸指定点を配置する。

※ナイロンラインの長さ、スタートラインと着陸指定点の距離は当日の状況により変更する場合がある。

e) 飛行禁止空域内の飛行には警告を行う。競技者はただちに飛行禁止空域外に機体を出さなければならない。悪質な場合はそのフライトを0点とする。

f) セイフティーエリア内での人、物(テント、椅子、機体など含む)との接触はそのフライトを0点とする。

g) 飛行中、機体と人接触が発生した場合は、そのフライトを0点とする。

3. 競技

a) 競技は主催者の合図による同時発航とする。

但し、当日の気象条件によっては順次発航とする場合がある。

b) ラウンドごとに、各競技者はスタート地点と、それに対応する着陸指定点を割り当てられる。

競技者は正しい着陸指定点を使わなければならない。

c) フライトは1回のみとし、脱索によるリフライトは認めない

d) 作業時間は設けない。

e) 最大飛行時間は6分(360秒)とする。

4. 公式飛行のやり直し(リフライト)

以下の場合、競技者はリフライトの権利を得る。

a) 競技者の機体が、発航中に他の機体と衝突した時

b) 発航中の索からみ、もしくは索切れ

c) 競技者の関知しない出来事によって飛行が妨害または中止させられた時

※脱索、及びズームによる機体の破損もしくは空中分解はリフライトの対象とはならない。

発航時の他の機体の進路妨害はリフライトの対象とはならない。上記a)~c)による再飛行を要求するときはいできるだけ早く機体を着陸させるものとする。

但し、グループの競技成立最低人数は3人以上とするので、上記a)、b)もしくはc)に起因してグループ競技人数が3人未満となった場合は、競技を中断し、グループ全員でリフライトとする。

リフライトは、次の優先順にて競技者に与えられる。

- ① 次のグループなど、後に続くグループ(同じラウンド内)
- ② 上記①ができない場合、ラウンド最後に同じグループで実施。
- ③ 上記②で実施の場合、リフライト該当競技者はその得点が、それ以外の競技者は、元のフライトと、リフライトの結果のどちらか良い方を、公式成績とする。

6. 飛行得点と着陸追加点

6.1 飛行得点

飛行時間は、機体がハイスタートから離脱した時に始まり、機体が最初に地面に接した時に終わる。

飛行時間は1秒単位で計測し、1秒未満は切り捨てる。6分超の飛行は超過分を6分(360秒)から差し引く。

飛行時間1秒に対して2点が与えられ、着陸追加点を含めた上でラウンドごとの千分率計算の得点とする。

着陸エリア外の着陸は、そのラウンド(飛行と着陸の両方)がゼロ点とする。

6.2 着陸追加点

機体が停止した時の機体の機体先端と着陸指定点の距離に応じて、下記の追加点が与えられる。

距離(m) 着陸追加点

0.20m	100点	1.80m	92点	9.00m	60点
0.40m	99点	2.00m	91点	10.00m	55点
0.60m	98点	3.00m	90点	11.00m	50点
0.80m	97点	4.00m	85点	12.00m	45点
1.00m	96点	5.00m	80点	13.00m	40点
1.20m	95点	6.00m	75点	14.00m	35点
1.40m	94点	7.00m	70点	15.00m	30点
1.60m	93点	8.00m	65点	>15.00m	0

6.3 以下の場合、着陸追加点はゼロとする。

- a) 機体の後端部分が地面に接していない場合(機体が裏返っている場合は機体の後端部分が地面に接していないと見做す)
- b) 着陸時に部品が外れた場合
- c) 着陸後に飛行不能な状態になっている場合
- d) 着陸中に機体が競技者やその競技者の助手に接触した場合
- e) 着陸距離の計測の前に、競技者やその競技者の助手が機体に触れた場合
尚、6分を超えて飛行しても、着陸追加点は加算される

7. 最終成績

当日は4ラウンド以上を行う。フライオフは行わず、ラウンドの合計点により競技の順位を決定する。

ラウンドの合計点が同点の場合は、素点の合計により順位を決定する。